

# 語学の宝庫

## 国語辞典を大調査



ひひひひひひひひひひ

### 小渕先生直伝！ 辞書の上手い使い方

- 分からぬ単語を  
辞書で引く習慣をつける！
- 調べた単語を  
メモ帳などにメモする！  
日付付きだとなお良し！
- 電子辞書のジャンプ機能を  
最大限に活用する！

書は『基礎日本語辞典』で、この辞書は図説や用例、文法的な説明など辞書3冊が1冊に集約されていてとても便利だ。ぜひ使ってほしい」と勧められた。

国語辞典にはさまざまな大きさがあり

『日本国語大辞典』

のような何冊にもま

たがる規模である大

型の辞書、『広辞苑』

や『大辞泉』のよう

な分厚めである中型

の辞書、私たちが普

段使っているような

小型の辞書がある。小渕先生

は「家には中型辞書を、学校

に持ってくるのは小型辞書が

望ましい。他にも文章などを

書くときに『てにをは辞典』

や『表現辞典』

が家に

ある場合は一度使ってみてほしい

と説明された。

小渕先生は自分に合つたおすすめの辞書を選

本校生徒に対して利用している国語辞典のアンケートを行った。今回のキマグレはそのアンケートの結果と国語辞書に関する知識が豊富な小渕文恵先生に伺った国語辞典に関する話を紹介する。

国語辞典はさまざま出版版社から出版されている。辞書による違いを小渕先生は「同じ言葉でも辞書ごとに比べて説明がかなり違う。例えば

『新明解国語辞典』は語彙の説明で著作権を得られるように

作られた辞書で、書き方

が他の辞書に比べて独特だったり、

『三省堂現代新国語

辞典』は高校生向きの読みや

すい説明で、漢字辞典のよう

な使い方もできたりなどの特

徴がある」と説明された。ま

た上手な辞書の使い方を「辞

書は2冊ほど持つてお

くと、辞書による意味

の違いが知れて便利。

2冊目におすすめの辞

書は2冊ほど持つてお